

令和6年度 西東京市立学校 学校経営計画

学校名	西東京市立東伏見小学校	校長名	中嶋 太
-----	-------------	-----	------

学校教育目標

互いの人格を尊重し、自主・自立の精神と豊かな人間性を培い、知・徳・体の調和をとりながら生涯にわたって自己実現を目指す自立した児童の育成を図る。

- 心もからだも健康な子ども 「体力向上・健康増進」
- ◎ よく考え実行する子ども 「問題解決能力・情報活用能力」(重点目標)
- なかよくはげましあう子ども「自他理解力・人格形成力」

学校の特色

- 下野谷遺跡・公園・石神井川等の地域の魅力を生かし、共に歩む学校
～「地域は教材、地域は先生、地域は教室」を基盤とした地域学習の推進～
- 夢中になれる授業を子どもたちと創る学校
～主体的・対話的で深い学びのある授業づくりを日々の授業で目指す～
- 挨拶運動や交流・体育活動を盛んにし、心も体も豊かに育てる学校
～縦割り活動や幼保・小・中連携等の活性化～
- 緑あふれる、自然豊かな学校
～学校園(藍や稲の栽培)・芝生の整備、生きものとの触れ合い、ビオトープの整備～
- 特別支援教室拠点校として、一人一人を大切にした教育の推進を図る学校
～一人一人の特性や課題に応じた教育活動の推進と連携の強化～
- コミュニティ・スクールとして、保護者や地域の代表者が学校運営に参画する学校
～「地域と共にある学校づくり」、「学校と共にある地域づくり」の推進～
- 地域学校協働活動の取組として、地域の中核となる取組を模索する学校
～くじら山・育成会・かっぱらっぱ・どろんこ作業所、放課後子供教室・避難所運営等～

目指す学校像 (学校像、児童・生徒像、教師像)

<目指す学校像> 「一人一人のよさが生き、共に学び高め合っていく学校」

- 児童が安心して伸び伸びと自分の力を発揮できる学校
- かかわりを大切に「確かな学力」「豊かな心」「たくましい体」をはぐくむ学校
- 一人一人を大切に、個々の課題解決を支援する学校(特別支援教育の充実)
- 保護者・地域と手を取り合い、安全・安心な環境を創り出す学校

<目指す児童像>

- 「ふれあい」「しんせつ」「みとめあい」を大切にする児童(ふ・し・みっ子)
- 「なりたい自分」の実現に向け、主体的に学び、元気に遊び、夢をもつ児童
- 学校や地域のよさに気付き、感謝と誇りをもって共に歩む児童

<目指す教師像>

- 魅力ある授業・夢中になれる授業を創る教師
- 常に児童の心に寄り添い、児童のよさや不安に気付く眼をもち、褒めて伸ばし、みんなを守る、温かい教師
- 学校経営方針を理解し、その実現に向けてPDCAサイクルを活性化させ、チャレンジし続ける教師

学校経営の目標

1 中期経営目標（中間的課題）

【確かな学力の育成】

○知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等、バランスのとれた学力の育成

◎問題解決的な学習の充実と主体的・対話的で深い学びのある授業の創造

【豊かな心の育成】

◎自尊感情と人権尊重の精神の涵養と定着

○目標をもって臨み、努力したり、夢をもったりできる児童の育成

【健康と体力の育成】

○自分の健康や体力に対する関心と運動意欲・体力の向上

【地域に開く学校・学校力の強化】

○地域の施設や人材を活用した教育活動の一層の充実と活性化

2 短期経営目標（1に基づく本年度の重点目標）

【確かな学力の育成】

◎問題解決力の育成を柱としたふるさと探究学習の計画的な実施

○学力の状況の把握と実効可能な授業改善プランの推進

◎タブレット等を活用した情報活用能力の育成（個別最適な学びと協働的な学びの充実）

○家庭学習習慣の啓発と確立

【豊かな心の育成】

○心に響く「特別の教科 道徳」の授業の充実

○コミュニケーションの第1歩である挨拶の徹底と習慣化

○特別支援教室の拠点校として、個に応じた指導の充実

【健康と体力の育成】

○児童が夢中になる体育の授業による運動への意欲向上

○体力調査の分析と課題への具体的な手だての実践

○一校一取組運動の充実により、日常的な運動習慣の醸成と体力の育成

【地域に開く学校・学校力の強化】

◎地域の宝である下野谷遺跡と触れ合い、かかわる活動の模索と充実

○地域、保護者と連携し、放課後居場所づくり事業等、教育課程外の取組の充実

○情報発信の充実、組織の活性化、教職員の業務改善、働き方改革への模索

○コミュニティ・スクールとして地域に開かれた取組の推進と地域学校協働活動の模索

具体的方策

（短期経営目標を達成するための学校の具体的な取組）

【確かな学力】

○西東京市 GIGA スクール構想の充実→週ごとの指導計画へのⓧマークの位置付けと積極的活用

◎情報活用能力育成の課題である個別最適な学びの模索と情報活用スキルの向上

○魅力ある授業、夢中になれる授業に向けた授業観察時の相互授業参観、OJTの充実

◎ふるさと探究学習の推進と伴走者としての学習支援の充実

○「思考過程プレート」「学習スタンダード」を活用した学習・学習規律の確立

○「東京ベーシックドリル」「くじらタイム」の活用による学習習慣・学習支援の充実

○読書習慣を育む朝読書・読み聞かせ・ブックトーク・表彰制度の計画的実施

○「家庭学習の手引き」「チャレンジ家庭学習」を活用した家庭学習習慣の確立

【豊かな心の育成】

○子ども・保護者から信頼される、人権尊重を基盤とした「西東京あったか先生」の充実

○なかよし活動や挨拶の啓発活動を通じた、かかわる活動の充実

○ふれあい月間での心を育てる取組と児童会のいじめ防止啓発活動の実施・充実

○毎週の「特別の教科 道徳」授業の充実

○特別支援教室教員を校内委員会等に活用し、個の課題に応じた指導・支援の充実

◎児童の実態に応じた特別支援教室の運営と指導の充実

【健康と体力の育成】

○サニーマンデーとロング昼休みを活用し、すすんでかかわり運動する児童の育成

○年3回の一校一取組運動の充実と、体力調査の課題克服を通じた体力向上の継続実施

○給食放送や食育集会の実施、「給食だより」の工夫、食育授業での食への意識の高揚

【地域に開く学校】

○年5回の学校運営協議会を通じたコミュニティ・スクールの推進

○地域学校協働活動による取組の立案と協働体制の確立

○PTA・青少年育成会・学校サポーター「おやくじらの会」や関係団体との連携

○各種防災訓練（避難所設営・災害体験等）実施による地域防災意識の啓発

◎下野谷遺跡を活用した「ふるさと」意識、郷土の戦争遺産を基盤とした平和意識の醸成

○児童・保護者・地域のアンケートの実施、短いスパンでのPDCAサイクルの活性化